Syoukou-alumi

事業案内

Company profile

ショウコウアルミ株式会社

http://www.syoukou-alumi.com/

新しい考えを常に求めていきます。

当社はこれまでのものづくりの経験を活かして、新しい発想を生み出し、これまでのアルミ建材分野だけでなく他産業分野への貢献度を広くはかります。

職人気質

私たちは、ものづくりのスペシャリストです。

マシニングセンター、3DCADなどの製造の基本となる道具を使用してものづくりを行っています。

確かな技術

個人創業を含め、35年の製造経験を活かして、知恵と工夫のものづくりをおこなっています。

進　化

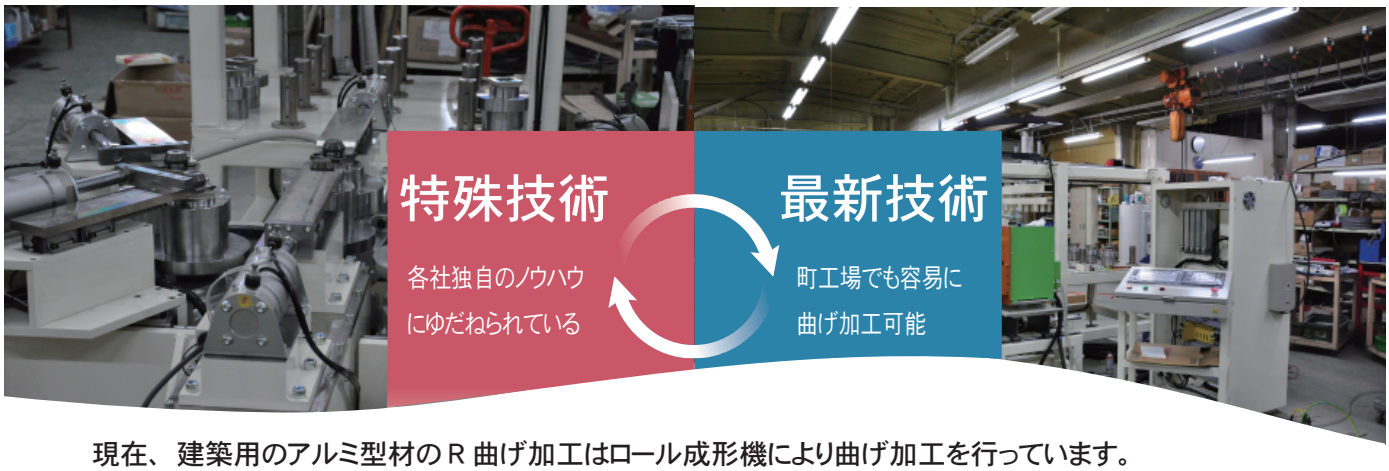
これまでの経験を活かして、他業種に貢献できないか、と考えました。

研究開発

これからの高齢化社会にともない、福祉、リハビリの利用はますます盛んになります。
福祉、リハビリの分野で自社が提案できることは何か、考えていきます。

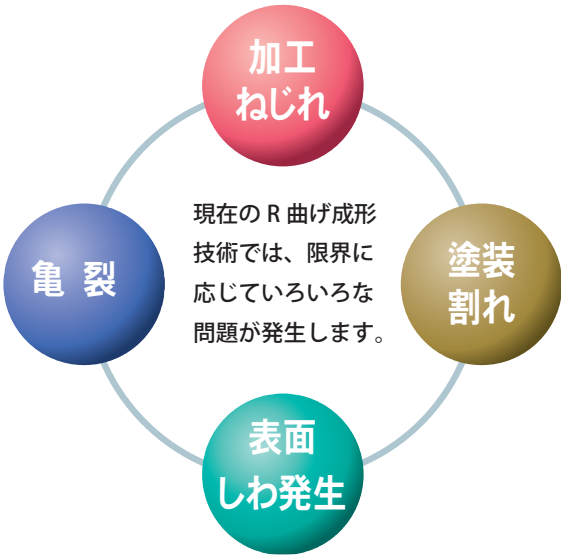
アルミ用R曲げ機の新規開発事業

多種多様なＲ指示加工をコスト削減の上、よりよい品質で制作できる事を目標とした試作機の研究開発です。



現在、建築用のアルミ型材のＲ曲げ加工はロール成形機により曲げ加工を行っています。
しかし、いろいろな断面形状を所定のＲに曲げるには特殊技術が必要となります。
そのため、曲げ技術は各社独自のノウハウにゆだねられているのが現状です。
そこで、今回機械加工方法に構造的な改良を加え、町工場でも容易に曲げ加工可能な機械を開発し、
生産コストの削減および納期の短縮に寄与したいと我々は考えます。

ロール・ベンダーによる、現状の問題点

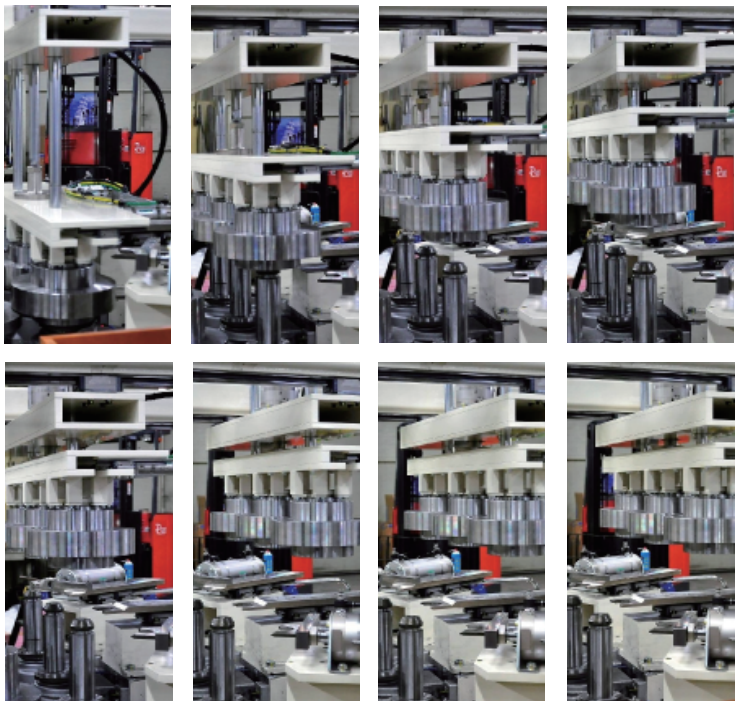


当社ではそのような問題解決のために、ロールベンダーおよびロール形状の改良・工夫により圧力の平均・分散化を軽減させる研究開発を行っております。

改良と工夫を重ね塑性加工の限界に挑みます!

従来のＲ曲げは材料を圧延して加工するために外側は伸びて、内側は縮みます。そのために上記のような異状が発生するのが普通でした。その点を技術革新により軽減・クリアしていくために我々は研究開発を重ねていきます。

最新技術を屈指したＲ曲げ加工機 新規開発 1 号機が登場!



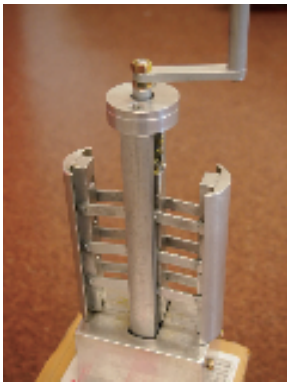
①機械装置にNC制御をのせる事により、同一の加工が速やかに行えるようになりました。

②ロール自身に駆動をかける事により、スリップ防止を図ります。（板厚の大きなもの、もしくは形状の大きなものは曲げ抑力に負けスリップしてしまいます）

③重い金型交換を自動化する事により、作業者の安全性を向上させます。

半身麻痺のリハビリ用器具（特許申請済み）①

既存のパチンコ台を使用し、少しでも健常者に近い生活をしてもらうための開発です。



クラシックメカ技術
安全を確実とするために

融　合

知　恵
創意工夫を凝らして

高齢化社会を迎え、福祉・医療の分野と、ものづくりの分野を融合して考えていく必要があるのではないかと考えます。私たちはものづくりを生業として、30 年の間、操業してきました。その経験を活かして、福祉・医療の分野に貢献できないかと思いました。その中で、リハビリ補助具に注目しました。

高齢者に多い脳卒中、脳溢血などの症状の場合、後遺症として、半身麻痺になる可能性がくなります。

半身麻痺になる場合、

72時間以内の
リハビリ運動開始

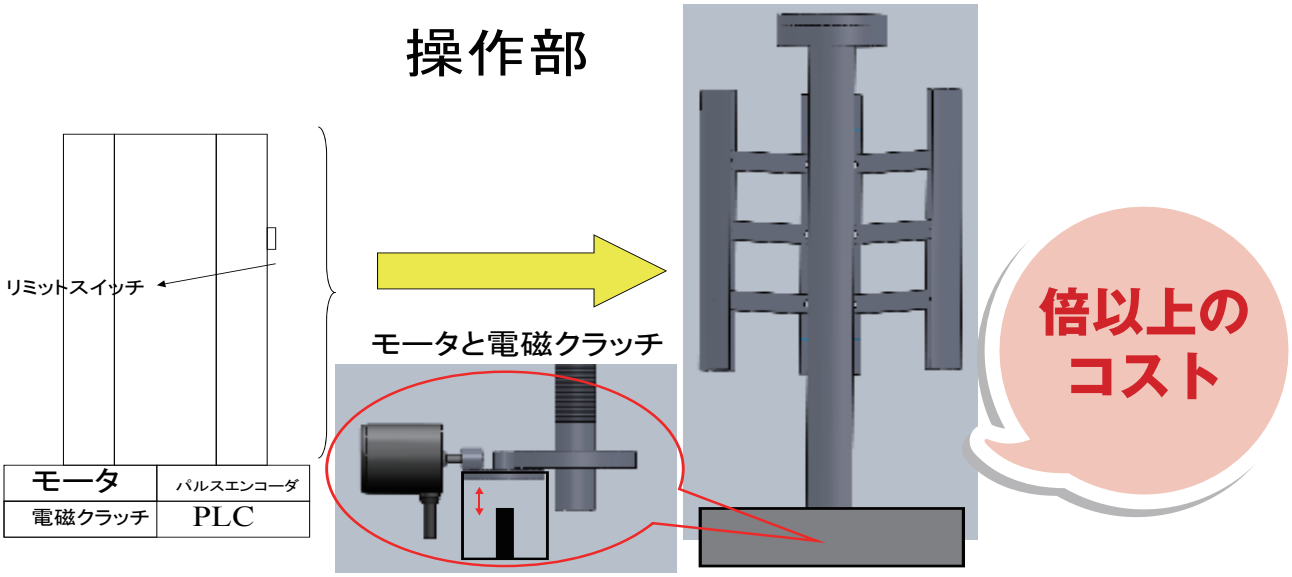
発症後

3か月間の
リハビリ運動量

これらが、
少しでも麻痺を克服するための予防策

しかし、脳卒中などの症状の後遺症として、6割以上の患者さんが「うつ病」になると言われています。
リハビリ時は、この「うつ病」が障害になります。
そのため、リハビリ運動をするまでの行動意欲をどうやって持たせるか、が鍵となります。
目的あるリハビリにしないと、患者さんがやってくれません。
また目的を、ゲーム性の強いものにすると、ゲームの結果が悪いものになったりする可能性があります。
そこで、今回は既存のパチンコ台を目的としました。

案として、自動化するものも考えてありますが、製作費ベースで、倍以上のコストがかかります。



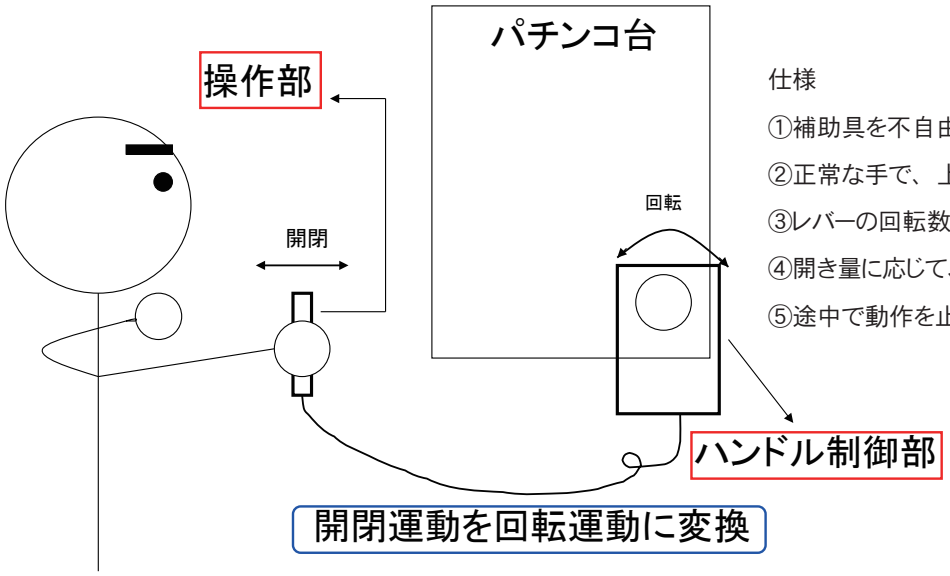
半身麻痺のリハビリ用器具（特許申請済み）②

今回私たちが制作した、補助具は、機構が非常にクラッシックです。

その理由は、

- ・安全性が非常に高いこと → 使用者が人のため
- ・仕組みがシンプルなため、操作が難しくない → 使用者に高齢者の方が多いと想定したため
- ・電気などを使用しないエコーを考えたため
- ・販売価格のコストダウンを図るため

パチンコ用リハビリ補助器具



仕様

①補助具を不自由な手で握ってもらう

②正常な手で、上のレバーを回してもらう

③レバーの回転数に比例して、補助具が開きだす

④開き量に応じて、パチンコの回転レバーに力が伝わる。

⑤途中で動作を止めれば、スプリングにより、逆戻しとなる。

健康と工業の融合

私たちが取り組む事は、海外からの安価な製品に対抗し、これからの国内製造の技術革新・進歩が何よりも大切な事であると考えました。

この事業を始める際に、富山県高志リハビリテーションセンターを始め、様々な機関に相談を持ちかけ、みなさまに、たくさんの助言をいただきました。
また、今年新設された、富山県ものづくり研究開発センターの企業スペースに入居し、日々新しいことにチャレンジし、創意工夫の毎日です。

経営理念

私たちはアルミ押出形材をもとに切断および加工による穴あけ、切欠といった加工および組み立てなどを行っている会社です。蓄積してきた経験によって培われた確かな技術は、軽くて丈夫、環境にも優しいといったアルミの優れた特性を最大限に引き出します。
私たちが作り出した製品は、街づくりに貢献し、人の暮らしのあらゆる場面を演出しております。時代の要求にマッチした製品のもの作りを目指し、企業として十年二十年先に向かってトライしています。

ごあいさつ

ショウコウアルミ株式会社では、アルミサッシのマシニング加工・フライス加工のスペシャリストとととして、正確な製品加工・部品加工を心がけ、創業以来一貫して「お客様への満足を提供する」をモットーに製品創りに努めております。

その間、皆様方から数多くのご指導、ご鞭撻を賜り確実に成長させていただいておりますが、これもひとえに皆様方のおかげと感謝しており、これからも感謝の気持ちを製品に反映し良い物創りに邁進してまいります。
なにとぞ、より一層のご支援、ご厚情のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 松井 勝雄

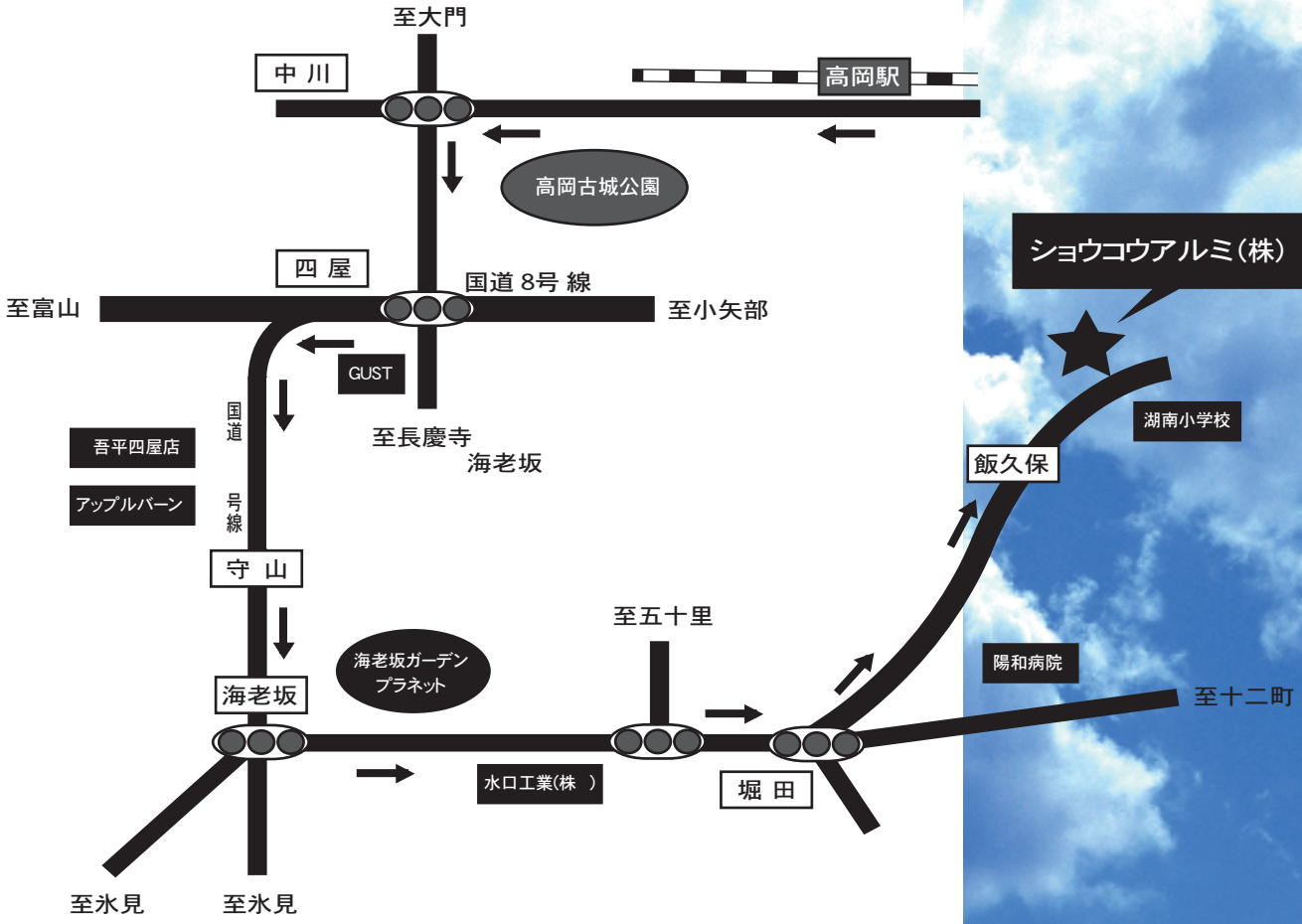
会社概要

■会社名	ショウコウアルミ株式会社
■創業設立	平成 3 年 4 月 6 日
■所在地	〒 935-0112 富山県氷見市飯久保 286-1
■ TEL / FAX	0766-91-6085 / 0766-91-1946
■代表者	松井 勝雄
■資本金	1,000 万円
■主要取引先	(株)LIXIL ほか

会社沿革

■ S52 年	ビル用サッシ組み立て主体として、松井建材を立ち上げる
■ S55 年	氷見市の現在地へ工場移転
■ H3 年 4 月 6 日	ショウコウアルミ株式会社法人設立
■ H5 年	NC 加工機導入
■ H16 年	新日軽小矢部工場へビルサッシのドアライン場内外注開始
■ H21 年	経済産業省の補助事業
■ H23 年	富山県ものづくり研究開発センター入居

ショウコウアルミ(株)　案内図



ショウコウアルミ株式会社

http://www.syoukou-alumi.com/

Tel: 0766-91-6085 / Fax: 0766-91-1946

〒 935-0112 富山県氷見市飯久保 286-1